



## ゴミを拾えば幸運が訪れる？ 「ゴミ拾いは運拾い」 嘘みたいな本当の話

文・写真

東 真七水

text &amp; photo by Manami Azuma

「スキューバダイビング×ゴミ拾い×水中ごみ拾い」を専門としたダイビングショップ「Dr・blue」でゴミ拾いダイビングのインストラクターをしている東真七水です。今回は、私が海だけでなく陸でもゴミ拾いを続けている理由の一つ、「ゴミ拾いは運拾い」についてご紹介します。

**海のためだけではなく  
自分のためにもなる、  
ゴミ拾いの魅力**

ゴミを拾うと運気が上がるというお話を耳にしたことはあるでしょうか。メジャーで大活躍の大谷翔平選手も、人が捨てた運を拾うためにゴミ拾いをされるそうです。また、宝くじ高額当選者の共通点が「ゴミ拾い」という興味深いお話もあります。科学的根拠はありませんが、この「運拾い説」は私の人生と照合しても共感する部分が非常に多いのです。

**ゴミ拾いにまつわる  
不思議な体験**

① 晴れ女になった

ゴミ拾いをする前の私は「嵐女」で、修学旅行は雨、卒業式は雪、海外旅行は台風で空港が停電、と大切な日は



大抵が悪天候でした。ところがゴミ拾いを始めてからは真逆の現象が起き、いつの間にか「晴れ女」と言われるようになる。私にとって運を味方につけるジンクスとなりました。

② コンサートで良い席が当たった

母はお散歩中、愛犬が誤食しないよう毎日ゴミ拾いをしていました。そんな母は玉置浩二のファンでもあり毎年ツアーに申し込むのですが、その8割が1〜5列目の席に当選しています。一方母の知人は後列ばかり…信じられない偶然が何年も続いているのです。

③ 結婚相手に出会った

私の誘いをきっかけにビーチクリーンに参加し始めた友人が、ビーチクリーンを通じて出会った男性と先日入籍しました。ビーチクリーンのおかげで最愛の人に出会えたこと感謝され、今でも思い入れのあるアクティビティとして夫婦で参加しているようです。

**ゴミ拾いに付加価値をつけることで、  
環境問題を、自分ごと化。**

活動を通して気づいたことは、ゴミ拾いする人の全員が環境や正義のために行っている訳ではなく、それぞれ個人的な目的を持って取り組んでいるということ。「環境問題のためにゴミを拾う」、これも大切な意識だと思いますが、「自分のため」だからこそ主体的に、そして継続的に取り組むことができます。海洋ゴミ問題解決のためには、ゴミ拾いに環境問題以外の付加価値をつけること、これが意外と重要かもしれません。皆さんもまずは海のためではなく、自分のためにゴミ拾いを始めてみませんか。

### Profile

奈良県生まれ。大学を卒業後化粧品会社に就職。沖縄の綺麗な海を守りたいと2020年に沖縄に移住し、2022年、水中ごみ拾い専門店Dr.blueを立ち上げる。  
【Dr.blue ウェブサイト】  
www.dr-blue.okinawa

